

続けることの大切さ

片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

偶然と奇跡が教えてくれたもの。

私がこれまで生きてきた中で、もともとも悲しみ、もともともいろんな人に感謝した二〇二一年という一年も、あと、十二月を残すだけとなりました。いつかはこの日が来るのだと思いつつ日々を過ごしていましたが、やはり、現実として実際に父を亡くすと、口では「全然平気だ」と強がりやを言ったりもしていましたが、思っていた以上に悲しく苦しく辛い感情に襲われるものだということがわかりました。先日、無事、父の四十九日の法要も終え、いささか父のいない生活にも慣れてきた私は、この二〇二一年という年を振り返り、今、徒然に思いにふけるようなところです。

オンライン授業ではありましたが、授業をし、帰宅し、風呂に入るまでは元気でいたが、その後様態が急変し、日付をまたぎ二十四日となつてから、病院で息を引き取りました。実は、父は亡くなる数日前より「肩がこった」とか「胃が痛い」ということを言っていました。ふとその言葉を思い出して、「父は、思った以上に体調が悪く、もう自分が長くないことを悟っていて、八月二十三日のオンライン授業が自分の最後の授業になるだろうから、その分、力を込めて授業をしたのだろうか。自分の人生の花道を飾ろうとしたのだろうか。授業補佐で教室にいた私に、自分の最後の授業を見せようとしたのだろうか」と考えたこともありました。つまり、もう、父自身、それから先の未来を生きていることを諦めていたのだらうか、と私は思っていました。

父はメモ魔でした。そのことを思い出して、罪悪感もありましたが、父が書き溜めてきたメモを見ました。本に綴られていたいろいろな「あ、そんなこともあったな」「あ、そうなのかな」とか「親父、そんなこと考えていたのか」とか感心しながら「...」と書いていよいよ亡くなる数日前のメモに書かれた父の手書きの文字に息が詰まるような思いがしました。「今日はP400まで。Light House (英和辞書の名前)を毎日、二〇〇ページ死守する。若さのミツ」と書かれていま

した。それが亡くなる五日前に書かれたものでした。父は、まだまだ自分が向上することを諦めていなかった。まだ生きようとしていたのです。父の死は一体何だったのだろうか。何を意味していたのだろうか。自分の頑張ってきた人生を人に知っていたら、ただの人生の意味なのだろうか。人間なのでそれは誰しも否定できないとは思いますが、それだけではない気がする。もっと深い意味はなんなのか。そんなことを考えておりました。

ちょうどその頃、綾美先生から「竹内先生の朝予備(十月二十七日にわざわざ来塾頂き、何と一時間三十分の授業を二回も行ってくださったFocusGoldの著者・竹内英人先生が、夏の間、朝の五時半から開催していたオンライン授業で、七月の終わりに、竹内先生の『習慣は癖になる』という言葉に感動して、おじいちゃん、オンラインで竹内先生とお話していたよ」と聞かれました。「習慣は癖になる」という言葉に感動している父の表情はすぐに想像がつかます。父自身も常に「英語は繰り返しや」「ええかあ、何回も何回もするぞ」「英語は根気よく」「絶えず英語に触れるんぞ」というようなことを、熱い口調でいつも生徒に語っていましたから。

朝予備には、毎朝綾美先生と塾生も何人か参加していました。父も年齢からくるものでなく朝が早かったため、綾美先生の横で

が大事。続けると決めたら絶対に何があってもやり抜く」と力強くおっしゃっていました。この言葉を聞いた瞬間、震えるような思いがしました。この言葉は私の中で、父が生前口にし続けてきた言葉や父の行動にすぐに結びついたからです。「ああ、父の死の意味はこれだ！」と。父の死もそうだし、竹内先生の当塾での授業もそうなのですが、どちらも偶然、奇跡です。そういったものが重なる時、何かしらの必然の意味を持つと思います。父は体調が万全ではない中でも、それまで続けてきた努力を続けようとした。生き続けようとした。竹内先生は「続けること」の大切さを力強くおっしゃった。このことを思うと、今回の偶然、奇跡の奥底にある本当の意味は「続けなさい。辛くてしんどくても続けなさい。続けているうちに道が見えてくる。続けることでしか最大の大切なことに気づけないのだ」ということを教えてくれているように思えてなりません。

その竹内先生が当塾でされた授業の中で、「続けること」

FocusGold 著者 竹内英人先生 来塾！



中学、高校の教科書、参考書、問題集を執筆され、数学の面白さを伝えようと、全国各地で講演会や出前授業、様々な学習支援活動をされている「たけちゃん先生」こと、名城大学教授の竹内英人先生が来塾され、特別授業をしてくださいました。大学入試で求められる力とは何か？数学が得意になるコツ、正しい勉強法などについて熱く語ってくださいました。

数学が得意になる3つのコツ

- ◎自分の頭でトコトン考えよう！
直ぐにヒント、答えを見る人は絶対に出来るようにならない。一生懸命考えている時間にこそ力がつく。
- ◎解き方を覚えるのではなく、考え方を理解しよう！
「How?」「Why?」を重視しよう。
- ◎色々な考え方をしよう！色んな別解を考える。
通りの解法だけで満足してはいけません。別の角度から色々な見方を変えて考えよう。

※この3つのポイントは、「共通テスト」で求められる「思考力・判断力・表現力」につながっています。
みんなのFocusGoldにもサインして下さった他、色紙に塾生の皆さんへのメッセージを書いてくださいました。

片桐英数塾の皆さんへ

- ① 学べることに感謝しよう
- ② 夢は必ず叶うと強く信じて
- ③ 自分のできることを毎日続けよう
- ④ 10年後 ワクワクする人生を
20年後 送れるように目標を持ちよう！
30年後 大切な先生

中学3年生冬期特別講習

受験生にとって勝負の冬休みがやってきます。苦手科目をしっかり克服し、重要事項の見直しを図るとともに、実戦演習で入試を意識した応用力をつけていきましょう。

～受講者の感想～

診断に向けてたくさん問題が解けたのが良かったです。解説も分かりやすく良かったです。授業で言われた通り図形の問題をもう少し練習して入試本番万全にしたいです。(G.Yさん)

学習の診断にでた所を冬期講習でしていたのでよくできた。英語と数学だけでなく苦手な理科も何回もくり返し勉強できた。英語と数学もまちがえたところをくり返しして間違えようがないように心がけた。本番に向けてこれから頑張るって、いい春をかえたい。(K.Aさん)

数学・英語は、自分の苦手な所があったので、それについて練習できました。数学は図形が苦手だったので、問題数をこなしたことで、力がついたと思います。英語は、文法に不確実な所があったのですが、分かって良かったです。映像授業は、気が済むまでやろうと思います。(Y.Sさん)

英語の受け身や現在進行形の文法がよく分かりました。数学の応用問題の解き方もよく分かりました。これからの診断や入試も頑張りたいです。(G.Hさん)

※定員になり次第締め切らせていただきます。
(詳しいスケジュールなどについては直接お問い合わせください。)

小6生

随時募集中

新中1準備講座 開講中!!

小6生を対象にした新中1準備講座を毎週土曜日に開講しています！この講座では、中学校で習う内容を先取りするだけでなく将来伸びる為に必要となる土台作り、学習習慣づくりもサポートします。わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。計算王決定戦、クイズ王決定戦へのエントリーもお待ちしております。

教科：英語、算数・数学、国語 月謝：7,700円(税込) 他講座と同時受講の場合は割引があります
開講日：土曜日16時半～18時半 (お77 活動などで都合がつかない場合はご相談ください)

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の12月のお休みは、

12月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、

12月29日(水)～1月3日(月)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくことにご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

「暴風警報」「特別警報」発令時、その他地震、風水害、雪害等の緊急事態が発生し、授業に支障があると判断した場合は、すべての授業が休講となります。その際は当塾ホームページで可能な限りお知らせいたします。

HP アドレス <http://www.katagirijuku.com>

塾生の皆さんで LINE 登録がまだの方は、こちらのQRコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などLINEでいつでも受け付けています。ご協力よろしくお願いいたします。

